

7.26
Fri.

13:30 – 14:45



池田泉州銀行 WEBセミナー

東証
解説

資本コスト経営 対応の要諦

要請から約1年、
対応の現状と開示に対する
投資家の反応は？

2023年3月、東京証券取引所は「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を要請しました。

それから約1年が経過した2024年4月末、プライム市場69%、スタンダード市場28%が、対応を開示しています（検討中を含む）。
具体的な対応内容は？それに対する投資家の反応は？要請の復習から対応の要諦まで、東証・二出川氏が解説します。



株式会社東京証券取引所
上場部上場会社サポートグループ 課長

二出川 聡氏

✓ **資本コスト経営、背景と趣旨**
改めて聞きたい！東証による要請の背景と趣旨の解説

✓ **対応状況と投資家の反応**
開示済の約1,500社に学ぶ、好事例と投資家が求める情報

✓ **英文開示の拡充**
2025年4月以降、プライム企業に拡充される開示とは？

お申込み

※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/240726>

2024/6/11 現在



お申込みはこちら ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/240726>



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

株式会社東京証券取引所
上場部上場会社サポートグループ
課長
二出川 聡氏

- 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の背景と趣旨
- 足元の各社の対応状況及び投資家の反応
- 2024年2月公表の事例集より
 - 好事例企業が投資家に評価されたポイント
 - 投資家との対話に関するポイント解説
- プライム市場における英文開示の拡充に向けて

Q&A

※Q&Aでは、皆様のご質問にお答えします。
ご質問はZoomのQ&Aボタンよりご入力ください。

二出川 聡氏

株式会社東京証券取引所
上場部上場会社サポートグループ 課長

2006年、株式会社東京証券取引所入社。主にデリバティブ市場の市場運営や売買審査業務を担当後、主に国内の機関投資家や個人投資家向けプロモーション活動に従事。2015年からは東証の親会社である株式会社日本取引所グループ財務部において、財務戦略や資本政策の企画立案など担当。2023年に東京証券取引所上場部へ異動、上場会社による適時開示に対する支援業務を経て、2024年1月の上場会社サポートグループ発足と同時に配属され、現在に至る。



ビジネスに“プラス”

資金調達、経営・事業戦略、海外進出など、
ビジネスシーンに合わせてご支援します



池田泉州銀行

▶詳細はこちら



【Webセミナー】東証解説 | 資本コスト経営、対応の要諦

日時	2024年7月26日（金）13:30～14:45（開演15分前からアクセス可）
定員	500名（参加費無料／事前登録制）
対象	上場企業および上場検討企業の経営者・経営層、経営企画、IR部門の方 等
主催	株式会社池田泉州銀行
共催	宝印刷株式会社／株式会社オービックビジネスコンサルタント
お問合わせ	株式会社オービックビジネスコンサルタント 坂本／本澤 mail： obc-as@obc.co.jp （9:00～17:00 土日祝祭日を除く）

- ※ お申込みの際にご入力いただくお客様の個人情報は、セミナーの受付業務に当たり名簿作成を行いお客様へのご対応をさせていただく上で必要なものです。お申込みいただいた個人情報につきましては、主催・共催企業にて共同利用させていただきます。当セミナーの運営、主催・共催企業が開催する今後のイベント・セミナー等のご案内、主催・共催企業からの製品情報及び商品等のご案内等の目的で使用いたします。
- ※ 個人情報を共有する場合、当該個人データの管理は株式会社池田泉州銀行（代表取締役頭取兼CEO：鶴川淳 住所：大阪市北区茶屋町18番14号）が責任をもって行います。
- ※ 講師・共催企業と同業の方、個人の方はお申込みをお断りする場合がございます。
- ※ 講師・講演内容は予告なく変更になる可能性がございます。

主催



池田泉州銀行

共催



宝印刷

